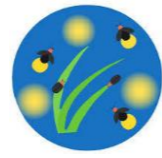


医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターだより

# ひまわり



第26号 令和2年6月  
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター  
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)  
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

## 新型コロナウイルス感染対策の長期面会制限 の中で工夫された患者家族の面会風景 ～笑顔に包まれた瞬間～



5月の連休明けから薩摩郡医師会病院では、ガラス越しの面会(正面玄関)と遠方のご家族でも利用できる(予約が必要)オンライン面会を始めました。5月の連休中にオンライン面会に必要な施設整備が行われました。写真はその面会の様子です。患者さまもご家族もとても喜んでおられました。  
新型コロナウイルス感染対策により長期に渡って面会制限を余儀なくされ、特に入院が長期になられている患者さまやご家族に、顔を見て安心して頂きたい、声を聞かせてあげたいとの思いから今回の取組みが実現致しました。  
6月1日より面会制限も少し緩和され、ガラス越しの面会は不要になりましたが、オンライン面会は、予約されれば実施可能です。遠方のご家族にはぜひ活用して頂ければと思います。皆様方の職場でも色々な取組みをされておられると思いますので、ぜひ、ご紹介頂けたらと思います。  
今後まだまだ油断は禁物ですが、「コロナに負けない!!」の精神で共にがんばりましょう。

## さつま町で重度訪問介護サービスが 開始されました。



令和2年4月1日より、さつま町在住のALS患者さまに重度訪問介護サービスが開始されました。サービス利用開始にあたり、担当者会議が開催されました。参加された皆様それぞれが自己紹介を行った後、今後のサービス利用計画について説明がありました。4人の介護士さんが交替で24時間サポートされますが、訪問看護サービスはこれまで通り継続されます。多くの方の支援により、ご家族の負担軽減に繋がっていくと思われます。また、多職種の方々の情報共有ツールとして、MCS(さつまネット)を活用して頂く事になり、参加方法等についてご説明させて頂きました。

これまで何名かのALS患者さまにお会いしましたが、重度訪問介護サービスが無かった為、在宅での療養を望んでもできなかった方がおられました。今回、重度訪問介護サービスを開始して頂く事になりましたが、ここに至るまでには、多くのご理解とご協力があったの事と思います。特にご尽力頂きました日本ALS協会鹿児島県支部事務局長であり、また、かごしま24(重度訪問介護事業)代表の里中利恵さまにこれまでのご苦労についてお話を伺いました。

里中さまは、お父様がALSになられたのをきっかけに平成14年に日本ALS協会鹿児島県支部を立ち上げられ、16年間に渡りボランティアとして事務局長を務めて来られました。ご自身では、「ピアノの先生」という役割も持たれ、薩摩川内市で週2回教室を開いておられますが、ご主人の支えがなければやってこれなかったと言われています。離島に在住のALS患者さまの在宅療養体制づくりに行かれた際は、医療介護資源の全く無い中、とてもご苦労されたそうです。また新たな訪問介護士の育成にも携わっておられ、研修の講師や実習先の調整などとても忙しくされておられます。

「今回のサービス開始にあたり、できれば、さつま町在住の方に従事して頂ければと募集を行ってきましたが応募が無く、鹿児島市内在住の方に従事して頂く事になりました。ぜひさつま町の方にも重度訪問介護の研修を受けて頂き地域を支えて頂きたい」と言われています。重度訪問介護は、無資格の方でも、3日間(9時~17時)の講義と2日間の実習で業務に就く事ができるそうです。現在40人の介護士の方が所属されていますが、まだまだ需要に対してこたえきれていない現状だそうです。興味のある方は、ぜひ当センターまたは日本ALS協会鹿児島県支部にお問い合わせください。

## 第2回目の今回は、薩摩郡歯科医師会在宅医療・広報担当理事の福岡歯科 科医院院長福岡宏士先生にお願い致しました。



### 口腔機能低下症と歯科での取り組みについて

いつも本会にご協力・ご助力いただきまして誠にありがとうございます。これまで歯科が担当させていただきました『さつまネット研修会』をはじめ、行政やケアマネ主催の講演会にて“オーラルフレイル”について周知させていただいております。**オーラルフレイルは咬みづらい、むせる、飲み込みにくいなどを主症状とした口腔機能が低下した状態で、オーラルフレイルの進行が全身疾患の悪化や認知症の発症リスクを上昇させること、要介護や総死亡リスクを約2倍も上昇させることも分かっています。**特に、嚥下機能が低下していると、誤嚥性肺炎や窒息をおこすリスクが高くなるため、命に直結する問題となります。また、**脳梗塞後遺症、パーキンソン病や認知症などでさらに顕著に出現しやすくなるといわれていますので、高齢化がかなりすすんでいる北薩地域は該当者が多いと予測されます。**

**歯科では2018年の保険改定により「口腔機能低下症」という病名が追加されました。**具体的には、オーラルフレイルの疑いがある方を対象に口腔衛生状態、舌口唇運動機能や嚥下機能などの口腔機能の検査を行い、7つの検査のうち3項目以上が該当すると『口腔機能低下症』と診断します。入院患者さんや在宅療養中の方、施設入居者などを対象とした訪問歯科診療でも可能です。

**オーラルフレイル予防および対策には口腔周囲筋のトレーニング(口腔機能訓練)が有効です。口腔機能低下症と診断された場合も口腔機能訓練を中心に治療を行います。**重度の口腔機能低下症の場合は口腔機能訓練に加え、医科の先生方や栄養士の方々と多職種連携して摂食機能療法を行います。

鹿児島県歯科医師会では専用冊子を作製し、医療・介護従事者や県民の方々に口腔機能の大切さや訓練法について啓発活動を行っています。理路整然とした非常に分かりやすい冊子ですので、ご興味がある方は下記までお問い合わせください。(参考:冊子一部40円)

お問合せ先:鹿児島県歯科医師会 歯科医療連携室 (TEL:099-223-0378)  
(文責:薩摩郡歯科医師会 福岡 宏士)

### 薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会

#### あんしんカプセル推進チーム結成

薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会は、新型コロナウイルスの感染予防の為、令和2年度の会議を開催できない状況が続いています。そのような状況ではありますが、あんしんカプセル推進チームと命名し、第1回目のチーム会議をさつま町地域包括支援センターで開催致しました。包括支援センター、社会福祉協議会、さつま町高齢者支援課より5名の方にご出席頂きました。あんしんカプセルの今後の活用推進について話し合いました。

《センターより》  
福岡先生、情報提供有難うございました。オーラルフレイルの冊子は当センターにも見本を頂いておりますので、ご覧になりたい方はご連絡ください。今後の活動について検討を開始している所ですが、第2波、第3波の可能性から、会議、研修会は、9月以降の開催となる見込みです。オンライン会議についても今後検討していく予定です。MCS(さつまネット)の活用が少しづつですが進んでいます。今後も情報交換に有効活用して頂けると幸いです(K)。

